

5章．地域別みどりの配置方針

(1) 地域別の考え方

地域別みどりの配置方針では、上位計画である国土利用計画及び都市計画マスタープランを踏襲して、うるま市を旧2市2町の4地域に区分し、それぞれの地域の特性や主な課題、市民アンケート調査や意見交換会（ワークショップ）による地域住民からの提案を踏まえて、各地域のみどりの将来像等を示す。

地域区分図



(2) 地域別の配置方針

1) 具志川地域

現況と課題

具志川地域は、地域の内陸部に位置する県道75号線（沖縄石川線）や県道8号、県道85号線（沖縄環状道路）沿道を中心に市街地が形成されており、商業の集積地ともなっている一方で沖縄市との市境や金武湾沿岸を中心に豊かな自然が残り、集落が点在している。市街地の拡大によってみどりが減少してきており、残された緑地の保全が必要である。また、中城湾港新港地区における工業の立地も進んでいる。



本地域の人口及び世帯数は増加傾向であり、土地利用状況は都市的土地利用が上回っている。公園・緑地は51箇所と4地域の中で最も多いが、住民一人当たり公園面積（供用開始）は9.3㎡と4地域の中で最も少ない状況である。（都市公園等一覧は参考資料 p59～61 参照）

本地域には、東西に伸びる天願川等の豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれており、グスク等の歴史文化資源も多く点在している。各地に残る昔ながらの井泉や河川敷の親水空間としての整備や、斜面地や金武湾の海岸線の保全、新規公園の整備等が課題である。

表 人口・世帯数の推移 (単位:人、世帯)

	H2	H7	H12	H17
人口	54,018	57,169	61,061	64,864
世帯数	14,885	16,520	18,882	21,297

資料:国勢調査

表 土地利用状況

(単位:ha)

	自然的土地利用					都市的土地利用					合計
	農地	山林	水面	その他	小計	宅地	公共・公益用地	道路	その他	小計	
面積	870.8	218.9	28.1	243.1	1,360.9	700.3	271.3	319.1	554.3	1,845.1	3,206.0
構成比	27.2%	6.8%	0.9%	7.6%	42.4%	21.8%	8.5%	10.0%	17.3%	57.6%	100.0%

資料:平成18年 都市計画基礎調査

表 公園・緑地の状況

(単位:箇所、ha)

	住区基幹公園			都市基幹公園	特殊公園	その他の公園	合計	一人当たり公園面積(㎡)
	街区公園	近隣公園	地区公園	運動公園	風致公園			
箇所	33	1	2	1	1	13	51	9.3
面積	10.15	1.44	7.97	14.56	4.90	21.21	60.23	

緑道・その他(未決定)、未着手公園を除く

一人当たり公園面積:供用開始面積合計÷人口(H17国勢調査)

資料:うるま市 都市計画部 都市計画課(平成21年)



みどりの特性（主なみどりの資源）

本計画では、基本方針として「みどりを守る」「みどりをつくる」「みどりを育てる」の3つの柱を掲げている。（p23 参照）

「みどりを守る」には、樹林地や農地、河川や海岸・海浜等の自然環境の保全がある。また、歴史文化的な資源である史跡（グスク・井泉等）や闘牛場、集落の屋敷林等の保全もある。本地域においては、下原地区の斜面緑地帯、天願川、安慶名城跡等の資源がある。

「みどりをつくる」には、道路の植栽帯や公園・緑地の整備、公共施設及び民間施設の緑化、地域住民による住宅地や河川敷・海岸等での緑化活動等がある。本地域においては、本庁舎前のハウオウボク並木道や具志川運動公園、学校施設や商業施設等の緑化空間、天願川河川敷等での地域住民による緑化活動等の資源がある。

「みどりを育てる」には、樹林地等の保全するみどりや公園等の創出するみどりの維持管理について、地域住民等と協働で樹木の剪定・草刈り・清掃活動等を行うことや、地域資源として観光や教育等への活用等がある。本地域においては、天願川や州崎の海水路等で地域住民等による清掃活動や生物観察会等のイベント開催といった資源がある。

本地域のみどりの特性となる主な資源を、住民意見を踏まえて以下のように整理し、次頁において図示する。

樹林地	下原地区の斜面緑地帯、ウイシ山等の点在する自然緑地(小さな森や山)
農地	具志川のピーグ田(い草田)・水田、兼箇段の電照菊畑等
河川	天願川、川崎川、ヌーリ川、米原川
海岸・海浜	金武湾及び中城湾の海岸・海浜、州崎の海水路、宇堅ビーチ等
史跡・闘牛場	安慶名城跡、田場ガー、大田坂、旧天願橋、安慶名闘牛場等
屋敷林・シンボルツリー	フクギ屋敷林(天願、大田等)、高江洲小学校のクワディーサー等
道路の植栽帯	本庁舎前のハウオウボク並木道、具志川商業高校前のアカギ並木道等
公園・緑地	具志川運動公園、安慶名中央公園、野鳥の森公園等
民間施設緑地	ゴルフ場
施設緑化(公・民)	庁舎、学校教育施設、発電所、大規模商業施設等
良好な眺望点	喜屋武グスク、上江洲古島遺跡、野鳥の森公園展望台等
地域の緑化活動	天願川の緑化・清掃活動、州崎の海水路でのマングローブ植樹活動等

また、以前あったが現在はなくなった良好なみどりとして、中部病院駐車場のアメリカネムや高江洲中学校のデイゴ・センダン、ジョーミーチャー墓周辺の緑地の減少等が、住民意見から挙げられた。

みどりの将来像

みどりに満ちあふれた 人と水が響きあうまち

将来像の考え方

現在残されている自然的なみどりを保全し、さらに新規公園等の新たなみどりをつくることで、みどりに満ちあふれたまちを目指す。

地域の人々が、天願川等の河川、井泉、海岸等の水との関わりを通してみどりや環境への意識を高めるとともに、それらが地域資源として活かされるまちを目指す。

方針

みどりの特性を踏まえて、上記に掲げるみどりの将来像を実現するため、みどりを守り・つくり・育てるための方針を示す。

樹林地の保全

下原地区の斜面緑地帯は地すべり危険箇所の指定を受けているが、開発への規制が緩く建物の立地が見られ、防災面や景観保全の観点から、地域住民は開発規制が必要だと感じている。また、本地域の市街地内には小規模の森や丘等の自然緑地が残っているが、開発によってそれらは減少している。これらの樹林地を骨格的なみどり及び地域の貴重な自然景観として保全を図るため、地域との協議のもと、風致地区等の各種地域制緑地（p5 参照）の指定を検討する。



下原地区の斜面緑地帯



兼箇段の電照菊畑

農地の保全

下原地区に広がるほ場整備された農地、具志川のピーグ田（い草田）及び水田、「沖縄、ふるさと百選」の生産部門に認定された兼箇段の電照菊畑等、地域の特性に合った優良農地については、貴重な田園風景として保全を図る。



天願川

河川の保全・活用

天願川・川崎川・ヌーリ川・米原川等の河川は、周辺のみどりと併せて水鳥や昆虫等の貴重な生物の生息地・生育地となっている。また、近年は地域住民による緑化・清掃活動が



行われており、地域に親しまれる空間となっている。

これらの河川については、多様な生物の生息地・生育地として保全し、親水空間や散策路の整備を検討する。また、地域住民とともに緑化・清掃活動や多様なイベントを開催し、地域資源として活用を図る。



緑化された天願川の河川敷

海岸・海浜の保全

金武湾に面した海岸域は、人工的な海岸もあるが貴重な自然海岸も残されており、良好な自然環境や生態系を守るため、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努める。

中城湾に面した中城港湾新港地区を通過している州崎の海水路では、地域住民によるマングローブの植樹が行われており、今後も地域住民とともに緑化・清掃活動や多様なイベントを開催し、地域資源として活用を図る。



海水路のマングローブ植樹活動

また、具志川ビーチ等から島しょや金武湾を望む良好な海への眺望保全に努める。

井泉の保全

田場ガー、具志川のアカザンガー、平良川のウガンガー等、各集落に残る井泉及びその周辺環境については、地域と協働で環境整備や維持・保全を図り、地域資源として活用する。



田場ガー

歴史文化資源の保全・活用

歴史と自然の風景を感じられる安慶名城跡を保全するとともに、その良好な景観を観光等の地域振興の資源として活用する。また、兼箇段グスク、^{ウフゾウワケイミ}大門森古墓群、^{ウフクビラ}大田坂の石畳、各集落にある拝所等の地域の歴史文化資源については、地域の歴史と伝統を伝える資源として、地域の協力のもと史跡周辺のみどりと一体的な維持・保全を図り、これらを活かした景観づくり等を進める。



安慶名城跡

史跡等の整備にあたっては、歴史的な物語性等を考慮するとともに、自生種を中心に植栽する。

屋敷林や地域のシンボルツリー等の保全

天願や大田等の集落内に残るフクギ屋敷林は、昔ながらの集落景観を形成しており、その保全を図る。

また、高江洲小学校のクワディーサーや旧天願小学校跡地



旧天願小学校跡地のデイゴ

のデイゴ等の地域のシンボルとなる樹木を、保存樹制度の活用等により地域住民と協力して維持・保全する。（p60 保存樹（案）一覧図参照）

道路の緑化と維持管理

本地域は、本庁通りのハウオウボク並木道、具志川商業高等学校前及び具志川環状線のアカギ並木道等、地域住民から親しまれている美しい並木道が多い地域である。今後も、地域住民や専門家等の意見を聞きながら魅力的な街路樹を整備するとともに、地域が愛着を持って育てていけるような道路愛護団体登録制度等の仕組みを検討し、地域や関係機関との協力のもと、適切な維持管理に努める。

また、防災上重要な主要幹線道路については、防火帯となるよう重点的に街路樹を配置する。

公園・緑地の整備

具志川運動公園や野鳥の森公園等の既存公園については、快適に利用できるよう地域住民や関係機関の協力のもと、魅力的な機能の構築、緑陰創出や樹木の剪定、遊具・街灯等の施設の維持管理を図る。

また、地域内に予定されている港原海浜公園やヌーリ川公園等の整備を推進する。

平良川等の身近な公園が不足している地域については、配置バランスを考慮し、新規公園の整備を検討する。（p11 字別住民一人当たり公園面積現況図参照）

公園整備については、地域ニーズを反映させるとともに、防犯等の安全性や利便性・快適性等に配慮する。

公共施設・民間施設の緑化

地域が主体となって取り組んでいる高江洲中学校の壁面緑化活動等、地域参加型による多様な緑化手法を検討し、公共施設緑化を進める。特に、中部病院の駐車場は、地域住民から緑化及び緑陰創出の要望が高い場所であるため、積極的な緑化を進める。また、民間施設については、大気汚染等への緩衝帯となる工業施設の緑化、市民が身近に潤いを感じる大規模商業施設の緑化等、それぞれの施設の特性に応じた緑



具志川商高前アカギ並木道



具志川運動公園



野鳥の森公園



高江洲中学校の壁面緑化



商業施設駐車場の緑化空間

化・維持を進める。

住宅地の特性に合ったみどりの保全・創出

都市基盤が整理された住宅地や、フクギ屋敷林の残る昔ながらの集落等、多様な住宅地が存在しており、それぞれの地域特性に応じた住宅地のみどりづくりを進める。例えば、安慶名土地区画整理事業地区は緑化を含めた景観づくり、天願川と隣接す天願集落は河川環境づくりと併せたフクギ屋敷林の保全等、地域住民とともに住宅地のみどりの保全・創出に取り組む。



フクギ屋敷林（天願）

高台からの良好な眺望の保全

喜屋武グスク、上江洲古島遺跡、野鳥の森公園展望台等の高台から見る集落や海を望む壮観な眺望の保全に努める。



上江洲古島遺跡からの眺望

地域とともに取り組む緑化活動

本地域には、各自治会をはじめ、地域住民等で組織される多くの緑化団体が意欲的に活動しており、活動の場は地域コミュニティづくりにも寄与している。これらの団体とボランティア・関係機関・行政等による協働体制を構築し、それぞれの役割を果たしながら、河川緑化・沿道緑化・清掃活動等を継続的に取り組む。



住民による街路樹剪定作業